

サステナビリティ計画「MOL Sustainability Plan」の策定

2022年04月18日

株式会社商船三井（社長：橋本 剛、本社：東京都港区、以下「当社」）は、持続可能な社会の実現及び当社グループの企業価値向上に向けた取り組みとしてサステナビリティ計画「MOL Sustainability Plan」（以下、本計画）を策定しました。本計画の策定にあたっては、当社グループが事業を通じて優先的に取り組むべき社会課題である「サステナビリティ課題（マテリアリティ）」の一部見直しを行うとともに、各課題に紐づく具体的な目標・KPI・アクションプランを設定しました。

本計画の詳細は、以下URLより説明資料をご参照ください。

URL：https://mol.disclosure.site/pdf/ja/themes134/briefing_session.pdf

1. サステナビリティ課題の見直し

当社グループでは、事業を通じて優先的に取り組むべき社会課題をサステナビリティ課題と定義し、2019年に特定しました。この特定から2年を経て、気候変動や人権問題等の社会環境の変化に加え、当社グループの事業環境にも変化が起きていることを踏まえ、昨年サステナビリティ課題の一部見直しを行いました。この見直しでは、当社グループの「安全」に対する取り組み姿勢を明確化するとともに、当社グループ役職員だけでなく事業で関わる「すべての人々の活躍」「すべての人々との共生」を目指すこと等に重点を置いています。

【サステナビリティ課題（見直し後）】

 <p>Safety & Value 安全輸送・社会インフラ事業を通じた付加価値の提供</p>	<p>海運を中心とした社会インフラ事業を展開する中で、さまざまな物資やエネルギーを安全・安定的、経済的に輸送またはサービスを提供することで、世界中の人々の豊かな暮らしと産業を持続的に発展させていくことを目指します。</p>	<p>取組テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本業を通じた価値 ● 安全品質 ● さらなる付加価値 	<p>貢献するSDGs</p> 
 <p>Environment 海洋・地球環境の保全</p>	<p>事業を通じて与える海洋および地球環境への負のインパクト（海洋環境汚染、大気汚染、生物多様性の阻害、気候変動等）を最小化し、世界中の人々が暮らす地球を持続可能なものとすることを目指します。</p>	<p>取組テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動対策 ● 海洋環境保全 ● 生物多様性保護 ● 大気汚染防止 ● 環境マネジメント 	<p>貢献するSDGs</p> 
 <p>Human & Community 人の活躍と地域社会の発展</p>	<p>多様な個性と価値観を尊重し、一人ひとりが持つ能力を最大限に発揮し活躍できる企業グループとして、その事業活動を通じ、当社グループに関わる全ての人々との共生、地域社会の持続可能な発展・振興を目指します。</p>	<p>取組テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成 ● 働き方改革 ● ダイバーシティ&インクルージョン ● 健康経営 ● ステークホルダーエンゲージメント ● 地域振興 	<p>貢献するSDGs</p> 
 <p>Innovation 海の技術を進化させるイノベーション</p>	<p>クリーンエネルギーやICTを活用する技術を高めることで、当社事業にイノベーションを起こし、「安全輸送・社会インフラ事業を通じた付加価値の提供」「海洋・地球環境の保全」にも通じる様々な社会課題の解決に貢献することを目指します。</p>	<p>取組テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クリーンエネルギーの導入・普及 ● 船舶の省エネルギー化 ● ICTを活用した安全運航・効率運航 ● 技術開発・DX推進体制 	<p>貢献するSDGs</p> 
 <p>Governance 事業を支えるガバナンス・コンプライアンス</p>	<p>コーポレートガバナンスの充実およびコンプライアンスの徹底を通じ、当社グループ経営における透明性を確保し、事業活動を通じた社会課題への取り組みの基盤の構築、また、人権や安全・環境に配慮した持続可能なバリューチェーンの構築を目指します。</p>	<p>取組テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経営の透明性 ● 情報セキュリティ ● 責任ある調達 ● 人権尊重 ● 公正取引 ● 贈収賄防止 	<p>貢献するSDGs</p> 

【サステナビリティ課題の概念図】



2. サステナビリティ課題にかかる目標・KPI・アクションプランの設定

当社グループでは、「グループビジョン」（註1）の実現に向けて「サステナビリティ課題」の解決が不可欠であると考えています。課題への取り組みを強化し、効果測定と改善活動を適切に実施していくことを目的に、各課題に紐づく目標・KPI・アクションプランを設定しました。本計画の進捗は、当社ホームページ及び統合報告書等にて定期的に報告していきます。

当社グループは、環境・サステナビリティ委員会を中心とした体制の下、本計画を着実に遂行することで「サステナビリティ課題」の解決を図り、「グループビジョン」の実現を通じたグループ全体の企業価値の拡大を目指します。また、このような取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献します。

（註1）当社グループは、グループビジョンを「海運業を中心に様々な社会インフラ事業を展開し、環境保全を始めとした変化する社会のニーズに技術とサービスの進化で挑む。商船三井は全てのステークホルダーに新たな価値を届け、グローバルに成長する強くしなやかな企業グループを目指します。」と設定しています。

2021年4月1日付「[企業理念、グループビジョン、価値観・行動規範（MOL CHART「S」）の改定](#)」参照